

プロローグ 003

大阪アースダイビングマップ 017

第一部 プロト大阪

大阪を読み解く鍵を求めて

- 「くらげなす」土砂層の上に 022 / 大阪の見えない座標軸 025
二つの軸 026 / 南北に走るアポロン軸 028 / 東西に走るディオニュソス軸 029
河内カオスモス 032 / 西の王家の谷——百舌鳥古墳群 034
大阪文化の野生のルーツ 036 / 複素数都市 039

太陽と墳墓

- ディオニュソス軸線の発見者は誰か 041
「スミヨシ」系の海民 043

- 渡来民たちの波 045 / 日の御子の誕生 046
大阪の大地の歌 049 / 太陽の子の死と再生 051
四天王寺物語

- 軍事と呪術の物部氏 054 / 玉造の怪 056
比類なく高い仏塔 058 / キツツキと鷹の戦い 060
大阪スピリットの古層 062 / 聖徳太子と俊徳丸 064

第二部 ナニワの生成

砂州に育つ資本主義

- 商人と無縁の原理 070 / 水底から出現した島々 072
八十島のナニワ 074 / ナルニワ国の物語 076
アジールとしての砂州 078 / 淀川河口はクグツのすみか 080
はじまりの商人 082 / 商品は無縁から生まれた 084
豊かな無縁社会 086 / 無縁社会を超える 088

超縁社会

- ナニワのミトコンドリア戦略 090 / 負けるが勝ちや 092
有縁、無縁、超縁 094 / トーテム紋章としての暖簾 095
座という秘密結社 098 / お金と信用 099
信用とプロテスタント 102 / 信仰としての信用 104

船場人間学

- 船場の性と愛 107 / 野生のぼんち 109 / 番頭はんと丁稚どん 110
暗黙知はからだに叩き込む 112 / 幸之助と船場道場 114
甦れ、ナニワ資本主義 116

第三部 ミナミ浮上

日、没するところ

- 西方の意味 120 / 広大なネクロポリス 121
封印された笑いの芸能 124 / 聖なる墓守 127
埋葬儀礼のまわり 128 / 聖から芸人へ 130

千日前法善寺の神

- 処刑場から見世物へ 132 / 聖なるミナミ 134
地上からちよつとだけ離れて 135 / 自転車とパノラマ館 137
萬歳から漫才へ 139 / 民主的な南方からの神々 141
エビスの記憶 143 / 不条理の萬歳 145
シャーマン・吉本せいの選択 146 / 来るべき漫才 148

すばらしい新世界

- モダニズムの夢 151 / 新世界の精神分析 153
湿った通天閣 154 / タイシとビリケン 156
ミナミの胎蔵界曼荼羅 158 / 荒陵に咲く花 161

ディープな大阪

- 最後の庇護の場所 163 / 見えない空間 165
「あいりん地区」の形成史 167
鳶田から釜ヶ崎へ 169 / 世界と運命の転換点 171
エリアクリアランス 173 / 人類型都市構造 174 / ミナミの栄誉 176
ジャンジャン横丁のデュシャンたち 178
アンフラマンズなミナミ 180

第四部 アースダイバー問題集

土と墓場とラブホテル

- 崖地と粘土 190 / あわいの人形 192
マテリアリストにしてアニミスト 194 / 恋のマテリアリズム 196
ホテルはリバーサイド 198 / 自由恋愛のメッカ 201
ラブホテルとデイズニールランドの深層 202
ラブホと野生の思考 204

カマドと市場

- 敵が味方になるところ 206 / 転換の門 209
海に直結した魚市場 210 / 市場とスーパー 211

大阪の地主神

- 生玉神社と坐摩神社 214 / イカスリの神 216 / ツゲ一族の娘たち 218
渡辺一族の登場 221 / 水軍武士団へ 222
南渡辺村と北渡辺村 223 / 区別と階層差 225
さまよえる北渡辺村 228 / くり返される強制移住 229
太鼓の村 231 / 解放運動 233 / 「同和」の未来 235

女神の原像

- 「太陽の妻」 237 / 太陽と性 239
不思議な神話の記憶 241 / コリア世界との距離 243

コリア世界の古層と中層

- 生野区と平野区を掘る 245 / 猪飼野の謎 247
伽耶の人々の日本への移住 249 / ものづくり大阪の土台 251
帝国主義の時代 253 / 壁とその解体 255

河内・堺・岸和田—大阪の外縁

河内

先住民の夏至祭 260 / 死霊を渦の中に巻き込んで 264
古層の息づかい 266

北河内

宇宙船イワフネ号 269 / 河内の野生の根源地 270

堺と平野^{ひらの}

環濠都市の精神は生きている 276 / ガラパゴス型都市 280
堺と平野——偉大なる例外者 283 / 都市のたたかい 286

捕鯨とだんじり——岸和田

海民の夢の時間 289 / だんじりの運動学 292
だんじりⅡ捕鯨論 295

エピソードにかえて 300

主な文献資料 312

中沢新一（なかざわ・しんいち）

思想家、人類学者。明治大学野生の科学研究所
所長。1950 年山梨県生まれ。東京大学大学院
人文科学研究科博士課程満期退学。宗教から哲
学まで、芸術から科学まで、あらゆる領域でし
なやかな思考を展開する。著書に『チベットの
モーツァルト』『森のバロック』（講談社学術文
庫）、『アースダイバー』（講談社）、『芸術人類学』
（みすず書房）、『日本の大転換』（集英社）他多数。
近著に『野生の科学』（講談社）がある。

おおきか
大阪アースダイバー

2012年10月10日 第1刷発行

2012年11月2日 第4刷発行

著・写真	なかざわしんいち 中沢新一
発行者	鈴木 哲
発行所	株式会社講談社 東京都文京区音羽2-12-21 〒112-8001 電話 出版部 03-5395-3512 販売部 03-5395-3622 業務部 03-5395-3615
印刷所	凸版印刷株式会社
製本所	大口製本印刷株式会社



©Shinichi Nakazawa 2012, Printed in Japan
N.D.C.216 317p 21cm

定価はカバーに表示してあります。

落丁本・乱丁本は、購入書店名を明記のうえ、小社業務部宛にお送りください。

送料小社負担にてお取替えします。

なお、この本についてのお問い合わせは学術図書第一出版部宛にお願いいたします。

本書のコピー、スキャン、デジタル化等の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。

本書を代行業者等の第三者に依頼してスキャンやデジタル化することはたとえ個人や家庭内の利用でも著作権法違反です。

Ⓔ（日本複製権センター委託出版物）

ISBN978-4-06-217812-9